

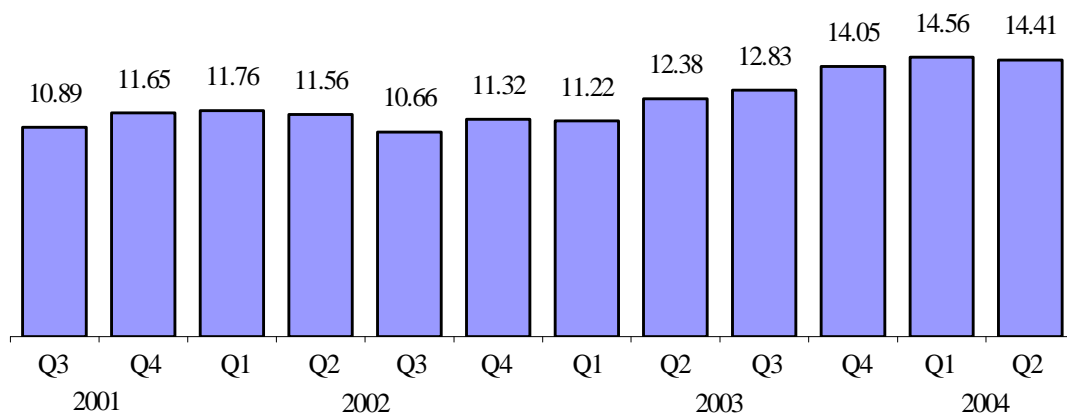
投資信託の世界統計

2004年第2四半期（4月～6月）

国際投資信託協会¹が加盟各国の協力の下に集めたデータによると、世界の投資信託²の残高は6月末で14.41兆ドルと3月末に比べわずかに減少（1.0%の減少）。一方、資金純増額も第1四半期の2,460億ドルから第2四半期には180億ドルと大幅に減少した。今回は40カ国から提供されデータを集計したもの。

第2四半期には、株式投信とバランスファンドの残高はやや増加したものの、公社債投信とMMFの残高減少がそれを上回ったため全体としては残高減少となった。

世界の投信残高 (兆ドル、四半期末)



投信残高上位10カ国(2004年6月末)

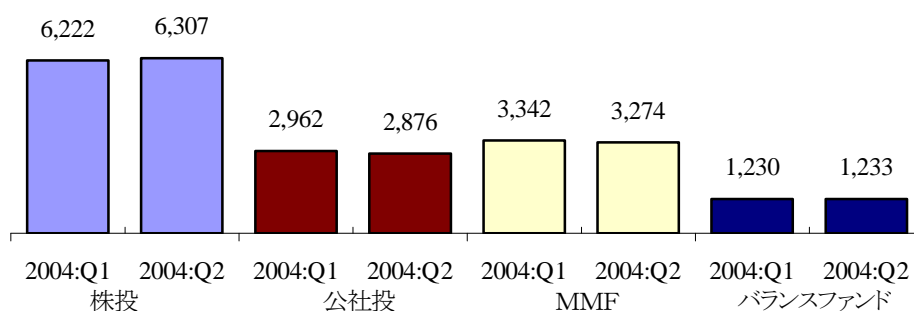
順位	国名	残高(十億ドル)	順位	国名	残高(十億ドル)
1	米国	7,586	6	英国	416
2	フランス	1,194	7	アイルランド	395
3	ルクセンブルグ	1,179	8	日本	364
4	オーストラリア	531	9	カナダ	357
5	イタリア	450	10	香港	281

¹ 世界各国の投資信託協会が加盟する国際組織。

² この世界統計において、「投資信託」とはオープン・エンドの公募証券投資信託をいう。

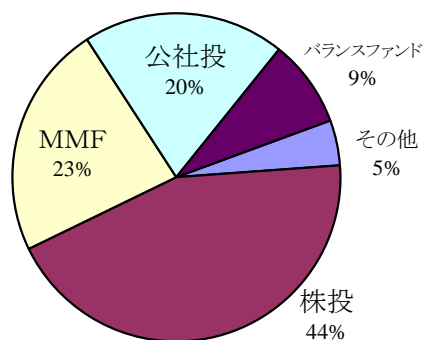
6月末の株式投信の残高は6.3兆ドルで、3月末に比べ1.4%の増加。株価が第2四半期に約半数の国で上昇したほか、資金純増額も750億ドルとそこそこの額を記録したことによる。公社債投信は2.9%の減少、バランスファンドは0.2%の増加、MMFは2.0%の減少であった。

世界の投信残高のタイプ別増減
(十億ドル、四半期末)



(注) オランダを除く (2004年第2四半期末のオランダの残高が入手できなかったため)。

世界の投信残高のタイプ別構成比
(%、2004年6月末)



株式投信の資金純増額は、第1四半期の1,430億ドルから第2四半期には750億ドルに減少したが、全ての地域で資金純増であった(南北アメリカの資金純増が380億ドル、ヨーロッパが240億ドル、アジア・太平洋地域とアフリカが合わせて140億ドル)。

公社債投信は、第1四半期は580億ドルの資金純増であったものが、第2四半期には110億ドルの資金純減に転じた。これは、ヨーロッパとアフリカが資金純増を記

録したのに対し、南北アメリカが大幅な資金純減となりアジア・太平洋地域も若干の資金純減となったことによる。

MMFは、第1四半期の30億ドルの資金純増から第1四半期には630億ドルの資金純減となった。米国が590億ドルもの資金純減であっただけでなく、ヨーロッパとアジア・太平洋地域も資金純減を記録した。

世界の投信の資金純増減

(十億ドル)

	2002		2003				2004	
	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
合計	-27	168	44	136	65	73	246	18
株投	-58	12	-9	74	102	116	143	75
公社投	52	37	86	88	6	-4	58	-11
MMF	-12	115	-31	-38	-76	-67	3	-63
バランスファンド	-12	-1	-3	9	28	23	40	4
その他	4	5	0	3	6	5	3	13

(注) 資金純増減データの提供国数：2002年Q3は27か国、2002年Q4は28か国、2003年Q1は29か国、2003年Q2、Q3、Q4、2004年Q1は30か国、2004年Q2は31か国。2004年Q2において資金純増減を提供した31か国の残高は、今回データを提供した全ての国(40か国)の残高の93%を占める。四捨五入のためタイプ別の計は合計と一致しない。「資金純増減」＝設定―解約―償還。